

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京丹波町立蒲生野中学校 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	京丹波町立蒲生野中学校 第1学年60名、第2学年51名、第3学年63名 計174名 保護者 30名が参加
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (親子人権学習) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	車椅子バスケットの競技者として、仲間とどのような関わりで競技をされ、何を大切にされているのかを知り、障害者への理解を深める。 障害をどのように乗り越えたり、ハンデを克服されたりしているのか、競技だけではなく、苦境を乗り越える生き方について共感し、自身の今後の生き方の参考とすることができる。
5 取組内容	平成30年11月17日(土) 午前8時30分～11時30分 (1) オリパラ理解学習「パラリンピックスポーツについて学ぼう」 ① リオパラリンピック大会のダイジェストを視聴する。 ② 「クイズで知ろう！パラリンピックスポーツ」を用いてパラリンピックについての理解を深める。 (2) 人権講演会 ① 車椅子バスケットボールチーム京都アップス代表山本英嗣氏による講演 演題 「スポーツを通じた人権について学ぶ」 ② デモンストレーション ア 競技用車椅子の構造について説明 イ バスケットのルールについて ウ 基本的な技法について（ターン、ボールの扱い方等） エ シュート、パスのデモンストレーション ③ 車椅子バスケット ゲームの体験 1年生～3年生の順に5対5のゲームを実施。



[各クラスで事前学習をする様子]



[講演を聴く生徒の様子]



[デモンストレーションの様子]



[ゲームを体験する生徒の様子]

6 主な成果

- (1) 事故が原因で車椅子生活となり、挫折していた時に、仲間とスポーツ（車椅子バスケット）の出会いにより、人生が変わった様子の話を聞き勇気づけられた。今後の自分の生き方について参考となる内容であった。
- (2) 車椅子バスケットボールのルールや実際の体験を通して、思うように車椅子が操作できない困難さを体験できた。同時に困難さからの練習により、1つ1つのハードルを越えることで、技能が上がり、スポーツの楽しさを味わうことができると認識できたこと。
- (3) 事前学習としてオリパラ理解学習「パラリンピックスポーツについて学ぼう」を実施したことで、より理解が深まった。
- (4) 屋外で車椅子を使用すると、路上に捨てられたガムがタイヤにへばりつくことがあり、困られた様子を聞くことができた。ゴミを正しく処理することなど、当たり前のこととして行動することの大切さを学ぶことができた。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- (1) 事前学習を実施することで、後の講演や体験に主体的に取り組むことができていた。
- (2) 体験活動が大切と考え、車椅子バスケットボールのゲームを中心に体験する事ができた。車椅子を町内から10台借りることもでき、効果的な学習が可能となった。

8 主な課題等

今回の講演と体験が、今後開催されるオリンピック、パラリンピックの大会に向け、どのような視点で観戦・応援できるのか、また、大会を通じて自分自身の生活を見つめ直す機会につなげられるのが課題である。

9 来年度以降の実施予定

来年度は、スポーツに関する映像の鑑賞（映画鑑賞含む）を考えている。作品や映像が限られてくると予想できるが、オリンピック・パラリンピック事業を推進する上で、より効果的に理解が深まる内容を考えたい。